

ごあいさつ



平素より、呉信用金庫“くれしん”に対し、格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第92期（平成28年度）の業務の状況を取りまとめましたので、ご高覧いただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度を振り返りますと、国内経済はアベノミクスの推進により、マクロでは緩やかな回復を続けてきたものの、潜在成長率が低位に推移する下で、その回復力は力強さを欠いており、企業の景況感も、地域や規模によって大きなばらつきが見られました。呉市を中心とした当地域においては、高齢化、人口や事業所数の減少といった構造的な課題を抱えており、地域経済の担い手である中小企業の多くが慢性的な人手不足に加え、為替変動に伴う生産コスト等の調整を強いられるなど、厳しい経営を余儀なくされています。一方で、東広島・呉道路の全通や企業の投資意欲の回復を背景として、当地域の工業団地の分譲は好調であるなど、明るい兆しも見られ、景気は一進一退が続いている状況です。

こうした中、当金庫では、経営方針の活動テーマとして「CHALLENGE for the COMMUNITY」を掲げ、個人や法人等のお客さまに何ができるか、何を求められているか、何に答えられるかを追求し、地域の特性を活かしたお客さま志向の営業の展開に取り組んでまいりました。

法人・個人事業者のお客さまには、外部機関との連携による創業・起業の支援や、「くれしん地域企業応援ガイドブック2016」の創刊など、ビジネスマッチング支援の強化、外部専門機関等を活用した事業再生支援など、お客さまの成長段階に応じた提案活動を進めてまいりました。

個人のお客さまには、職域セールスの拡大に取り組むとともに、インターネットでの住宅ローン事前審査やWeb完結型カードローンの取扱開始など、更なる利便性の向上に努めてまいりました。また、高齢化が進展する当地域において、相続や贈与といったニーズにお応えするために信託契約代理店業務の取扱を開始したほか、特殊詐欺被害防止を目的に70歳以上の方を対象に、ATM振込利用制限を実施するなど、お客さまの大切な資産を守ることに取り組んでまいりました。

その結果、平成28年度の業績は、貸出金残高が4期連続で増加し3,839億円、預金積金残高が6,839億円となり、当期純利益を18億円計上することができました。

これからも、お客さまとの対話を通じた、きめ細かい金融サービスの提供に努め、地域社会の活性化・繁栄に少しでも貢献できるよう取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年 7月

理事長 **槇岡敬人**